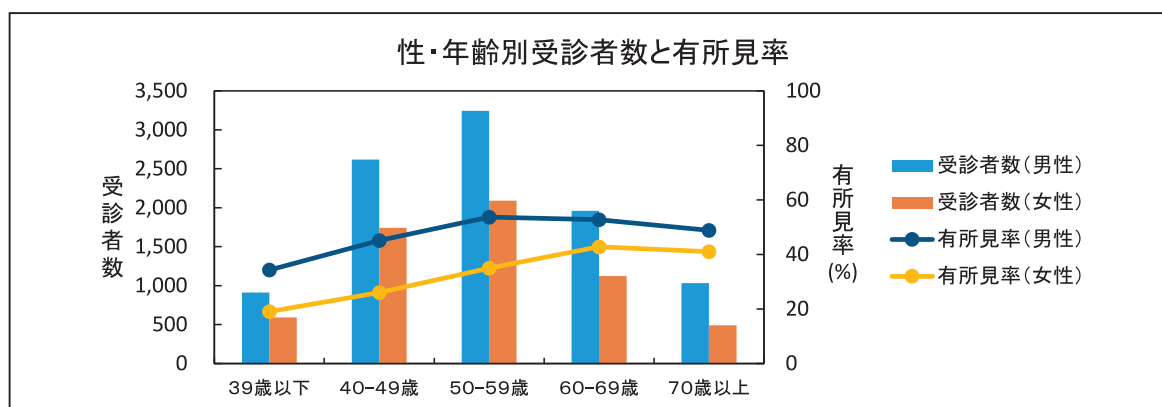


腹部超音波検査

性別	年齢	受診者数	経過観察者数 (C0~C12)	要精検者数 (D判定)	要精検(D判定) 臓器別件数					
					肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	脾臓	その他
男性	39歳以下	910	302	5	3	1	2	0	0	0
	40-49歳	2,620	1,144	18	5	3	11	0	0	1
	50-59歳	3,245	1,664	20	2	4	9(1)	4(1)	0	2
	60-69歳	1,962	955	22	2	7	7	4	1	4
	70歳以上	1,033	430	12	2	5(1)	2	4	0	0
女性	39歳以下	593	107	3	2	0	0	1	0	0
	40-49歳	1,741	432	3	1	1	1	0	0	0
	50-59歳	2,090	677	12	1	3	6(1)	1	0	1
	60-69歳	1,123	439	10	2	0	5	3	0	1
	70歳以上	490	172	4	0	0	3	1	0	0
計		15,807	6,322	109	20	24(1)	46(2)	18(1)	1	9

赤字はがん発見数

腹部超音波検査の受診者数は15,807人、このうち要精検者数は109人(0.7%)でした。がん発見数は4人(発見率0.03%)で、腎臓がん2人、膵臓がん1人、胆管がん1人でした。



受診者15,807人、このうち有所見者数は6,757人(42.7%)。50代男性の有所見率が最も高い結果となりました。

腹部超音波D判定の所見

(件)

検査判定	臓器	おもな所見	計
D判定(要精検)	肝臓	腫瘍(8) 血管腫(5) 腫瘍(3) 肝硬変(1) 粗造像(1) 脂肪肝(1) のう胞(1)	20
	胆のう	腺筋腫症(5) ポリープ(4) 胆石症(4) 壁肥厚(3) 腫瘍(2) 胆のう内異常陰影(2) 隆起性病変(1) 腫瘍(1) その他(2)	24
	腎臓	腎盂拡張(13) 水腎症(12) 腫瘍(5) 腎結石(4) 多発性のう胞腎(4) 腫瘍(2) 腎血管筋脂肪腫(2) 多発腎のう胞(2) その他(2)	46
	膵臓	のう胞(15) 膵管拡張(1) 腫瘍(1) のう胞性腫瘍(1)	18
	脾臓	脾腫(1)	1
	その他	腹部大動脈瘤(4) 副腎腫瘍(3) 腹水貯留(1) 腹腔内腫瘍(1)	9

(治療例)・腎腫瘍(D)→腎臓がんと診断されロボット支援腎部分切除術施行

・胆のう内異常陰影(D)→胆管がんと診断され肝左葉尾状葉切除術+肝外胆管切除再建

腹部超音波検査所見

		男性	女性	計	
受診者数		9,770		15,807	
正常者数(A・B) (%)		4,992 (51.1)	4,058 (67.2)	9,050 (57.3)	
有所見者数(C0~C12) (%)		4,495 (46.0)	1,827 (30.3)	6,322 (40.0)	
肝臓	脂肪肝	3,288 (33.7)	897 (14.9)	4,185 (26.5)	
	肝血管腫	658 (6.7)	504 (8.3)	1,162 (7.4)	
	肝のう胞	19 (0.2)	25 (0.4)	44 (0.3)	
	肝石灰化像	6 (0.1)	7 (0.1)	13 (0.1)	
	肝限局性脂肪沈着	12 (0.1)	14 (0.2)	26 (0.2)	
	その他	56 (0.6)	27 (0.4)	83 (0.5)	
胆のう	胆石	413 (4.2)	188 (3.1)	601 (3.8)	
	胆のうポリープ	200 (2.0)	97 (1.6)	297 (1.9)	
	胆のう壁内結石	133 (1.4)	41 (0.7)	174 (1.1)	
	胆のう腺筋腫症	225 (2.3)	59 (1.0)	284 (1.8)	
	その他	52 (0.5)	35 (0.6)	87 (0.6)	
腎臓	腎結石	193 (2.0)	49 (0.8)	242 (1.5)	
	腎のう胞	45 (0.5)	15 (0.2)	60 (0.4)	
	腎血管筋脂肪腫	48 (0.5)	79 (1.3)	127 (0.8)	
	腎盂拡張	35 (0.4)	36 (0.6)	71 (0.4)	
	腎石灰化	5 (0.1)	1 (0.02)	6 (0.04)	
	腎腫瘍	2 (0.02)	0	2 (0.01)	
	その他	93 (1.0)	28 (0.5)	121 (0.8)	
膵臓	膵石灰化	31 (0.3)	23 (0.4)	54 (0.3)	
	膵のう胞	45 (0.5)	52 (0.9)	97 (0.6)	
	膵管拡張	16 (0.2)	2 (0.03)	18 (0.1)	
	膵石	9 (0.1)	11 (0.2)	20 (0.1)	
脾臓	脾石灰化	7 (0.1)	4 (0.1)	11 (0.1)	
	脾血管腫	11 (0.1)	15 (0.2)	26 (0.2)	
	脾のう胞	3 (0.03)	5 (0.1)	8 (0.1)	
	その他	17 (0.2)	7 (0.1)	24 (0.2)	

肝臓では、脂肪肝が最も高率に発見され、4,185人(26.5%)に認めました。その他、肝血管腫1,162人(7.4%)、肝のう胞44人(0.3%)でした。

胆のうでは胆石が601人(3.8%)、胆のうポリープ297人(1.9%)でした。

腎臓では、結石が242人(1.5%)、腎のう胞が60人(0.4%)でした。

膵臓・脾臓は他の臓器に比べて所見の少ない臓器ですが、膵のう胞が97人(0.6%)、脾血管腫が26人(0.2%)でした。